

取扱説明書

車への取り付けは、必ずこの取扱説明書に従って正しく行ってください。指定以外の取り付け方法や指定以外の部品を使用すると、事故やケガの原因となる場合があります。この場合は、当社では一切の責任を負いかねます。

販売店様へ

取り付け作業が完了しましたら、この取扱説明書はお客様へお渡しください。

パイオニア株式会社

〒153-8654 東京都目黒区目黒 1-4-1

© パイオニア株式会社 2000
< KFJZF/00L00001 > < CZR3216-A >

仕様

一般

使用電源 : DC 3 V
(単4形乾電池 (R03) 2個使用)
寸法 : 37 (W) × 131 (H) × 29 (D) mm
質量 : 73 g (電池含む)

付属品

単4形乾電池 (R03) : 2
マウンティング
ベース : 1
両面テープ : 1
取扱説明書 : 1

メモ

本機の仕様および外観は予告なく変更することがあります。また、この説明書の中のイラストと実物が、一部異なる場合があります。

安全のために必ずお守りください

絵表示について

この取扱説明書および製品への表示は、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。

表示内容を無視して、誤った使いかたをしたときにおよぼす危害や損害の程度を次の表示で区分し、説明しています。



警告

この表示の欄は、「人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容」を示しています。



注意

この表示の欄は、「人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容」を示しています。

お守りいただく内容の種類を次の絵表示で区分し、説明しています。



注意

このような絵表示は、注意 (警告を含む) しなければならない内容です。



禁止

このような絵表示は、禁止 (やってはいけないこと) の内容です。






必ず行う

このような絵表示は、必ず行っていただく強制の内容です。



安全上のご注意

警告


[取り付け]

<p>前方の視界や安全装置、運転の妨げになる場所へは取り付けない</p> <p> 前方の視界を妨げる場所やエアバックなど安全装置の妨げになる場所、ステアリング・シフトレバーなどの運転操作に支障をきたす場所には、取り付けしないでください。交通事故やケガの原因となります。</p> <p>禁止</p>	<p>車体に穴を開けるときの注意</p> <p> 車体に穴を開けて取り付ける場合は、必ずパイプ類・タンク・電気配線などの位置を確認の上、これらと干渉や接触することがないように注意して行ってください。事故や火災の原因となります。</p> <p>注意</p>
<p>取り付けには保安部品のボルトやナットは、絶対に使用しない</p> <p> 車体のボルトやナットを使用する場合は、ステアリング・ブレーキ系統やタンクなどの保安部品は絶対に使用しないでください。これらを使用しますと制御不能や火災の原因となります。</p> <p>禁止</p>	

[使用方法]





<p>運転中に操作をしない</p> <p> 自動車の運転中に本機の操作をしないでください。前方不注意となり交通事故の原因となります。操作は、必ず安全な場所に車を停車させて行ってください。</p> <p>禁止</p>	<p>電池は幼児の手の届かないところに保管する</p> <p> 事故防止のため、電池は幼児の手の届かない所に保管してください。万一、お子様が飲み込んだ場合は、ただちに医師と相談してください。</p> <p>注意</p>
---	--

[異常時の処置]






<p>異常のまま使用しない</p> <p> 万一、煙が出る・変なにおいがする・内部に異物が入った・水がかかったなど異常が起きましたら、ただちに使用を中止し、必ずお買い上げの販売店にご相談ください。そのままご使用になると事故・火災・感電の原因となります。</p> <p>禁止</p>
--

注意

[取り付け]

<p>取り付けは、販売店に依頼する</p> <p> 取り付けには、専門技術と経験が必要です。安全のため、お買い上げの販売店に依頼してください。</p> <p>注意</p>	<p>必ず付属の部品を指定通りに使用する</p> <p> 必ず付属の部品を指定通りに使用してください。指定以外の部品を使用すると、しっかりと固定できず外れたりして危険です。</p> <p>必ず行う</p>
<p>水がかかる所に取り付けない</p> <p> ドア近くなど雨水がかかりやすい所への取り付けは、避けてください。水が混入しますと発煙や発火・感電の原因となることがあります。</p> <p>禁止</p>	<p>振動の多い所や不安定な所に取り付けない</p> <p> 振動の多い所や不安定な所への取り付けは、避けてください。外れて事故の原因となることがあります。</p> <p>禁止</p>

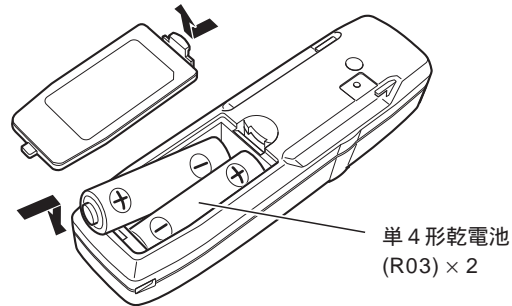
[使用方法]

<p>適正な音量で使用する</p> <p> 運転中の音量は、車外の音が聞こえる程度でご使用ください。車外の音が聞こえない状態で運転すると、事故の原因となることがあります。</p> <p>注意</p>	<p>指定の電池を使用する</p> <p> 指定の電池以外は、使用しないでください。また新しい電池と古い電池を混ぜての使用はしないでください。乾電池の破裂、液もれにより、火災やケガの原因となることがあります。</p> <p>注意</p>
<p>電池の極性に注意する</p> <p> 電池をリモコン内に入れるときに、極性(⊕ ⊖)に注意し、表示通りに入れてください。間違えますと乾電池の破裂、液もれにより、ケガや周囲を汚染する原因となることがあります。</p> <p>注意</p>	<p>本機を放置しない</p> <p> 本機を放置しないでください。停車したときやカーブを曲がるときに、本機が足元に転がり、ブレーキペダルなどの下に入り込むと運転の妨げとなり交通事故の原因となることがあります。操作をするとき以外は、固定しておいてください。</p> <p>注意</p>
<p>分解や改造はしない</p> <p> 本機を分解したり、改造しないでください。事故・火災・感電の原因となります。</p> <p>分解禁止</p>	

準備

電池を入れる

裏ボタンを開けて、単4形乾電池 (R03) 2本をセットします。



リモコンの操作可能範囲が狭くなってきたときは、新しい電池と交換してください。

取り扱い上のご注意

本機を直射日光の当たるところに長時間放置すると、高温により変形・変色したり、故障する恐れがあります。使用しないときは、直射日光の当たらないところに保管してください。

カーステレオのリモコン受光部に直射日光が当たっていると、本機の操作ができないことがあります。このようなときは、リモコン受光部に本機を近づけて操作してください。

乾電池は充電できません。

本機を長い間使わないときは、電池を取り出してください。

電池の液もれが起こったときは、内部についた液をよくふき取ってから、新しい電池と入れ換えてください。

不要となった電池を廃棄する場合は、各地方自治体の指示（条例）に従って処理してください。

リモコンの使いかたについて

本機の各部のなまえと働きについては、使用するカーステレオの取扱説明書を参照してください。

本機と組み合わせるカーステレオによっては、本機のDFボタンでPGMボタンの操作をすることができます。

本機と組み合わせるカーステレオによっては、FUNCTIONボタンおよびDFボタンが働かないことがあります。

本機はリモコンに対応していないカーステレオには使用できません。

モード切り換えについて

メインユニットにDSPを接続した場合は、リモコンをADD ON DSPモードに切り換えてください。本機のBANDボタンを押しながらFUNCTIONボタンを押すと、リモコンがADD ON DSPモードに切り換わります。リモコンを元のモードに戻したいときは、本機のBANDボタンを押しながらAUDIOボタンを押してください。

メインユニットにDSPを接続しない場合は、リモコンをADD ON DSPモードに切り換えしないでください。リモコンでメインユニットを正しく操作できなくなります。ADD ON DSPモードに切り換えてしまったときは、本機のBANDボタンを押しながらAUDIOボタンを押して、元のモードに戻してください。

リモコンの電池を交換すると、リモコンは元のモードに戻ります。メインユニットにDSPを接続している場合は、本機のBANDボタンを押しながらFUNCTIONボタンを押して、もう一度ADD ON DSPモードに切り換えてください。

取り付けかた

取り付けのポイント

両面テープを貼り付ける前に

両面テープを貼り付ける場所は、汚れをよくふきとってください。

取り付け角度について

マウンティングベースは、リモコンをセットしたときにリモコンが水平または上向きになるように取り付けてください。

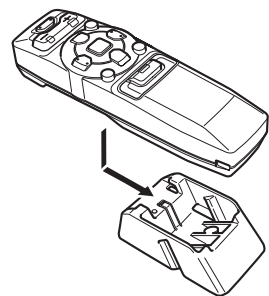
取付キットを別売しています

当社では、リモコンを助手席のシートレールにアームで取り付けることができる、システムコミュニケーター マウンティングアーム「AD-R60」を別売していますので、販売店にご相談ください。

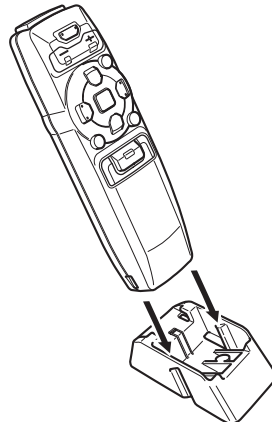
リモコンの装着

横置き/縦置きを選べます。

横置きの場合



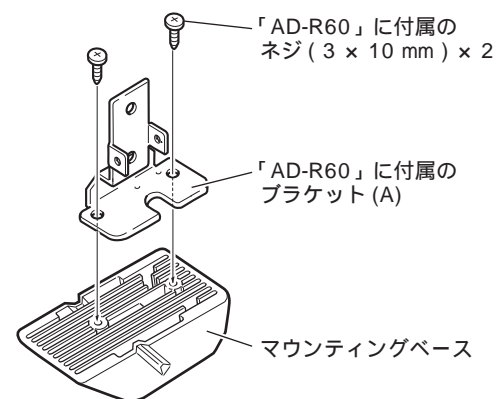
横縦置きの場合



“カチッ”と音がするまで、リモコンをマウンティングベースに押し込んでください。

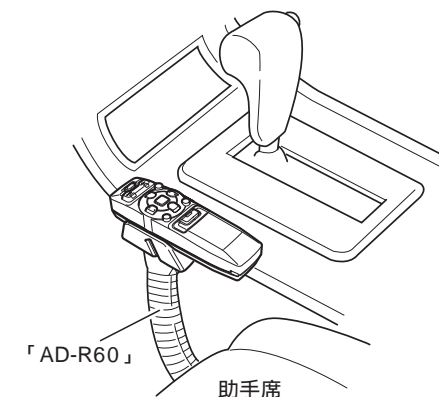
別売のマウンティングアーム「AD-R60」を使用して取り付ける場合

1 「AD-R60」に付属のブラケット (A) をマウンティングベースに取り付ける



2 「AD-R60」を車に取り付ける

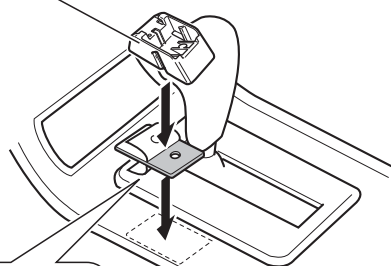
「AD-R60」の取付説明書を参照して、車に取り付けます。



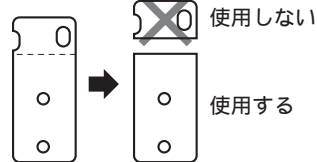
両面テープで取り付ける場合

付属の両面テープを使用して、マウンティングベースを取り付け場所に貼り付けます。

マウンティングベース



両面テープ



切れ込みに沿って両面テープを切って使用します。

助手席